

財務計算テキストチェックゼミ

第4回

テキスト①第7章・9章・10章、②第6・7章
外貨（その2）、金融商品、ヘッジ会計、
固定資産の減損（その1・その2）

資格の学校
TAC

オンライン開催
2023.7.5

ゼミ参加における注意点（再掲）

- ◎ 問題演習（アウトプット演習）は必須です！こちらは本ゼミでは行えないので、必ず自身で行ってください！
- ◎ パネリスト参加がおすすめです！緊張感の中でテキストの内容を思い出す練習ができます！緊張しやすい方には特におすすめします！
- ◎ 必ず予習をする！！予習不十分の状態でパネリスト参加はやめてください！参加型のゼミなので、他の人の迷惑になります・・・
- ◎ 必ず復習をする！！ただし、必ず「テキスト」に戻るようにしてください！使用したレジュメは配信しますが、あくまでも補助教材です。丸暗記×
- ◎ 本ゼミはあくまでも補助教材なので、通常講義やトレーニング演習を優先すること（入門生よりも再受験者推奨！！）

ゼミ運営のルール（再掲）

- ① 12月必ず合格する！！
- ② 当てられたら必ずミュートを解除してください！！
- ③ 当てられていないときも、当てられたつもりで、答えを考えましょう！
- ④ 質問は最後にまとめて受けます！！
わからないことはなるべくこの時間に解消しましょう。
- ⑤ まだまだ試行錯誤のところがあるので、不手際等あれば申し訳ありません。
- ⑥ ゼミとは別で自分自身で計算演習は進めること。
- ⑦ 参加者が多いと全員当てられない可能性もあります。
- ⑧ 悪口などは絶対に禁止をお願いします！！

ゼミ運営のルール（再掲）

- ⑨ ゼミとは別に計算演習は必ずしてください！
 - ⑩ 質問中はテキストを見てはいけません。全部終わってからテキストを開いてください。
 - ⑪ わからなかったことを後で確認できるように何かメモする紙があったほうがいいです。
スライドは配信するので、メモを取り過ぎてゼミを聞いていないことのないようにしてください！
 - ⑫ 電卓も持ってきてください！
 - ⑬ 勉強仲間がいる人は友達同士でもゼミをやってみましょう！
 - ⑭ 他の科目でも、テキストを見ずに思い出すという勉強法は活用できますよ！
 - ⑮ Twitterやっている方は「#テキチエ」で感想をつぶやいてくださいー！！
- ※ テキストチェックゼミ、名前が長いので「テキチエ」を略称にします～

テキスト②第 6， 7 章 固定資産の減損

Q

TAC

固定資産の減損の3つのステップを説明してください。

減損の兆候

減損の認識

(割引前将来CF)

減損の測定

(回収可能価額→正味売価or
使用価値の大きい方)

※TX② 〔例題6－1〕

Q

TAC

共用資産がある場合、
より大きな単位でグルーピングを行う方法の
会計処理を説明してください。

- (1) 資産or資産グループごとの減損処理
- (2) より大きな単位の減損処理
- (3) 共用資産を加えることによる増加分の配分
 - ① 正味売価※を限度として共用資産に配分
 - ② ①で配分されない場合超過額を他に配分

※共用資産に使用価値はない

※ T X ② 〔例題 6－4〕

Q

TAC

のれんの場合で
より大きな単位でグルーピングを行う方法の
会計処理について、
共用資産の処理と異なる点を
挙げてください。

- ・ のれんが複数事業より認識されている場合、各事業へ分割する必要がある。
- ・ のれんを加えることによる増加分はまず「のれん」に配分する。
(共用資産と異なり、限度はなく、のれんがゼロになるまで。)

※TX② 〔例題6－6〕

Q

TAC

共用資産がある場合、
各資産又は資産グループに配分する方法の
会計処理を説明してください。

- (1) 共用資産の帳簿価額の配分
 - (2) 共用資産配分後の各資産又は資産グループの減損処理
 - (2) で各資産グループで認識された減損損失は、各構成資産及び共用資産に比例配分する。
- ※ 優先配分しない！

Q

TAC

のれんがある場合で、
各資産又は資産グループに配分する方法の
会計処理について、
共用資産の処理と異なる点を挙げてください。

各資産グループで認識された減損損失は、
比例配分せず、のれんに優先的に配分し、
残額を残りの各構成資産に比例配分する。

※TX② 〔例題6－5〕， 〔例題6－6〕

Q

TAC

減損損失の認識の判定に用いる、割引前将来CFの総額について、計算方法を説明してください。

なお、主要な資産及び構成資産はそれぞれ一つありその他の資産はないものとする。

- ・ 20年以降の将来CFは20年経過時点まで割り引く
- ・ 主要な資産の耐用年数以降のCFは無視
(構成資産は原則として
主要な資産の耐用年数経過時点の
正味売価を加える。)

※TX② 〔例題7－1〕～ 〔例題7－5〕

主要な資産の経済的残存使用年数経過後、
新たに主要な資産になると考えられる
資産の使用に係る合理的な計画が存在している
場合の会計処理を説明してください。

A

- ・原則

主要な資産の経済的残存使用年数経過時点までの
CFを計算に用いる。

- ・容認

「合理的な計画に従って算定した将来キャッシュ・
フローの主要な資産の経済的残存使用年数経過時点
における現在価値」を用いることができる。

※TX② 〔例題7－6〕

Q

TAC

構成資産について、その耐用年数経過後に新たな構成資産を取得する計画がある場合どのように割引前C Fの総額の計算を行う説明してください。

主要な資産の経済的残存使用年数経過時点までのCFは、計算に加える。

(注：主要な資産と異なり，容認ではない

→割引計算をして現在価値にしない！

取得原価を加えることも忘れない！)

※TX② 〔例題7－7〕

Q

TAC

減損損失の認識の判定で用いる
割引前将来CFの見積りにおける
ファイナンス・リース取引に係る支払リース料と
オペレーティング・リース取引に係る支払リース料の
取り扱いを理由とともに答えてください。

A

TAC

- ・ファイナンス・リース取引
→COFに将来の支払リース料は含まれない
- ・オペレーティング・リース取引
→COFに将来の支払リース料は含まれる

理由：ファイナンス・リース取引は
リース料というCOFを資産として
既に加味しているため、
支払リース料を含める必要はない。

※TX② 〔例題7－8〕

テキスト①第7・9・10章

外貨(その2)、金融商品、ヘッジ会計

Q

TAC

条件付金融資産の譲渡に関しては、
（？）アプローチが採用されています。
（？）にあてはまる言葉と、
その言葉の意味を説明してください。

財務構成要素アプローチ

金融資産を構成する財務的要素に対する支配が他に移転した場合に
当該移転した財務構成要素の消滅を認識し、
留保される財務構成要素の存続を認識する方法。

金融資産の財務構成要素ごとに
消滅の認識を考えます。

※ T X ①〔例題 9－1〕，理論 T X 第18章Ⅱ. 2.

Q

TAC

デリバティブ取引により生じる
債権及び債務について、
B/Sの金額及び評価差額の
原則的な処理方法を説明してください。

B/S 価額…時価

評価差額…当期の損益

※T X①第9章3.2.(2),

〔例題9－2〕, 〔例題9－3〕

理論T X第18章Ⅷ.

Q

TAC

先物取引とは何か説明してください。
なお、説明の中で先物価格についても
あわせて説明してください。

先物取引とは、売手と買手が将来の一定の時期に一定のモノを現在の時点で約束した価格（先物価格）で受け渡すことを約束する取引である。

→要は、「将来」??円（先物価格）で
売るor買うことを、「今」約束する取引

※TX①〔例題9－2〕，〔例題9－3〕

Q

TAC

× 3 年 2 月 1 日に A 商品先物を
1,100円／個で 1 枚（1,000個）買い建てた。
決算日（× 3 年 3 月 31 日）に
A 商品先物価格が 1,130円／個であった。
決算日の仕訳を教えてください。

(借) 先 物 取 引	30,000	(貸) 先 物 取 引 損 益	30,000
-------------	--------	-----------------	--------

(損か益かを考えるイメージ、①or②)

①1,100円で買う (予約=固定)

1,130円で売る差額30円「益」出てる！

②自分は1,100円で買える (予約=固定)

周りは1,130円なので自分は30円安く買える

※TX①〔例題9－2〕

Q

TAC

- × 3年2月1日にA商品先物を1,100円／個で1枚（1,000個）買い建てた。
- × 3年3月31日（決算日）にA商品先物価格が1,130円／個であった。
- × 3年5月12日（決済日）に1,140円／個で反対売買を行った。
- × 3年度損益計算書に計上される先物取引損益の金額を教えてください。

A

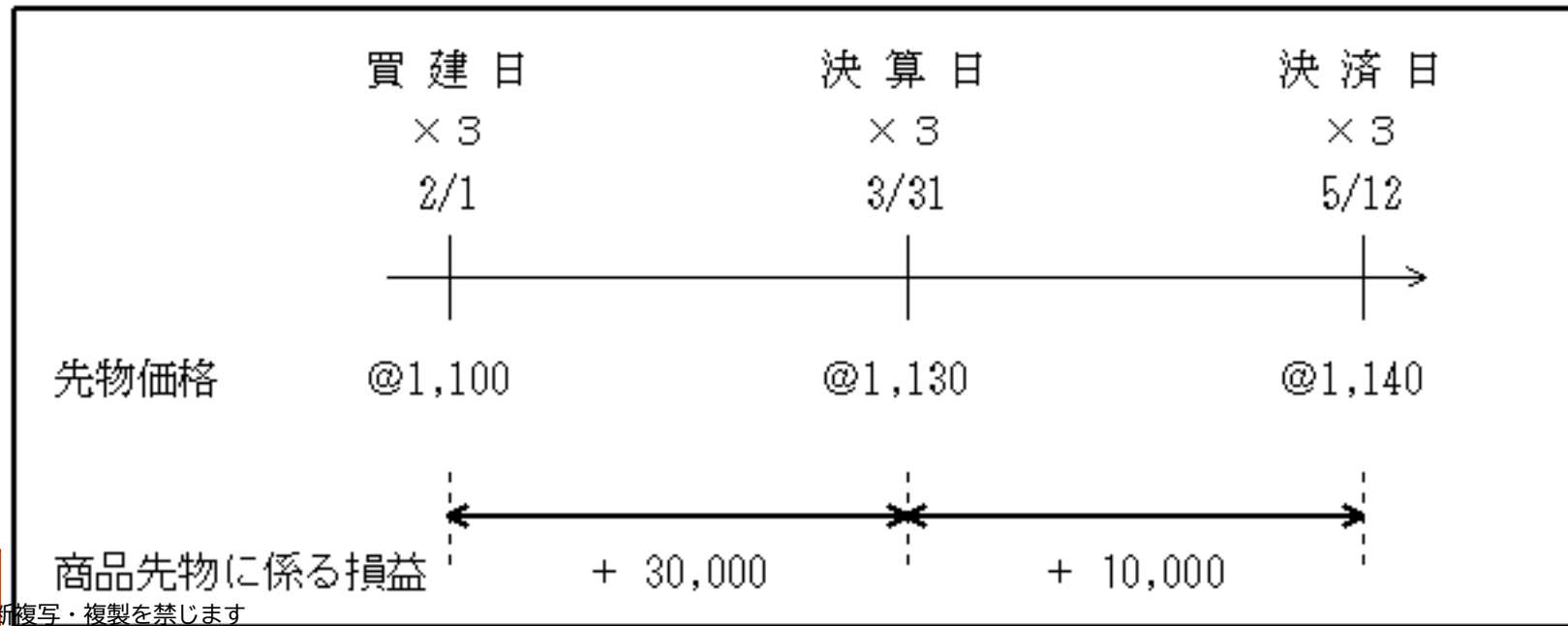
+ 10,000円

$(1,140\text{円} - 1,130\text{円}) \times 1,000\text{個}$

※損益計算書には期中の変動分が損益として計上される。

切放でも洗替でも同じ結果となる。

※TX①〔例題9－2〕



Q

TAC

通貨先物の売予約を1,000ドル行った。

先物レートは以下のとおりである。

× 1年3月1日（予約日）： 124円／ドル

× 1年3月31日（決算日）： 123円／ドル

決算日の仕訳を答えてください。

A

TAC

(借) 為 替 予 約	1,000	(貸) 為 替 差 損 益	1,000
-------------	-------	---------------	-------

(損か益かを考えるイメージ, ①or②)

①124円で売る (予約=固定) 123円で買う。

差額1円「益」出てる!

②自分は124円で売れる (予約=固定)

周りは123円なので自分は1円高く売れる。

※TX①〔例題9-2〕

オプション取引とは何か説明してください。
なお、説明の中でオプション料についても
併せて説明してください（いつ支払うのか
など）。

オプションとは、一定の期日あるいは一定の期間内に一定の価格で特定の商品を買う又は売る権利をいう。

オプション料は買手があらかじめ売手に支払うもの。

Q

TAC

コール・オプションとは
何か説明してください。

A

TAC

買う権利
(プット・オプションが売る権利)

Q

TAC

オプション取引（買手側）について、
決算時に行う会計処理を教えてください。

A

TAC

オプションを時価評価する。

なお、オプション価値の差額を、
当期の損益として処理する。

注：先物相場の差額としない！

Memo：オプション価格には内在価値及び
時間価値が含まれる。

※TX①〔例題9－4〕

1. X3年7月1日に、T社株式のプット・オプションを1千株分購入し、オプション料として総額 20千円を支払った。なお、権利行使期日はX4年3月31日、権利行使価格は1株当たり1,000円である。

2. X4年2月1日に、B社株式の時価が1株当たり800円であったため、権利行使をした。

上記の資料より、X3年度（X3年4月1日～X4年3月31日）のオプション損益の金額を答えてください。なお、損失の場合は△を付すこと。

A

180千円

(借) 現金 預金	200(*1)	(貸) オプション	20
		オプション損益	180(*2)

(*1) $(1,000円 - 800円) \times 1千株 = 200$

(*2) $200(*1) - 20 = 180$

※TX①〔例題9－4〕

以下の文章の誤りを指摘してください。

ヘッジ取引とは、
ヘッジ手段である資産又は負債の価格変動、
金利変動及び為替変動といった相場変動等による
損失の可能性を減殺することを目的として、
デリバティブ取引をヘッジ対象として用いる
取引をいう。

正しい文章…

ヘッジ取引とは、ヘッジ対象である資産又は負債の価格変動、金利変動及び為替変動といった相場変動等による損失の可能性を減殺することを目的として、デリバティブ取引をヘッジ手段として用いる取引をいう。

※TX①〔例題10－1〕，

理論TX第18章IX.

Q

TAC

ヘッジ会計とは何か説明してください。

ヘッジ会計とは、
ヘッジ取引のうち一定の要件を充たすものについて、ヘッジ対象に係る損益とヘッジ手段に係る損益を同一の会計期間に認識し、
ヘッジの効果を会計に反映させるための
特殊な会計処理をいう。

※TX①〔例題10－1〕，

理論TX第18章IX.

Q

TAC

国債現物(その他有価証券として保有)の購入と同時に、
債券先物市場で売建取引を同額行った際には
「ヘッジ会計」の対象となる。
その理由を説明してください。

ヘッジ対象であるその他有価証券は
評価差額が損益として処理されず
(その他有価証券評価差額金は評価・換算差額等)、
ヘッジ手段である債券先物と損益が
期間的に一致しないため。

※T X①〔例題10－1〕，

理論T X第18章IX.

Q

TAC

繰延ヘッジの会計処理を説明してください。

繰延ヘッジ...

時価評価されているヘッジ手段に係る損益又は評価差額を、ヘッジ対象に係る損益が認識されるまで純資産の部（繰延ヘッジ損益，評価換算差額等）において繰り延べる方法である。

つまり、ヘッジ対象に係る損益認識時点はそのままに、ヘッジ手段に係る損益認識時点を合わせる方法をいう。

※TX①〔例題10－1〕

Q

TAC

時価ヘッジの会計処理を説明してください。

A

TAC

時価ヘッジとは、ヘッジ対象である資産又は負債に係る相場変動等を損益に反映させることにより、その損益とヘッジ手段に係る損益とを同一の会計期間に認識する方法である。

つまり、ヘッジ手段に係る損益認識時点はそのままに、ヘッジ対象に係る損益認識時点を合わせる方法をいう。

※TX①〔例題10－1〕

Q

国債現物（その他有価証券として保有）の購入と同時に、債券先物市場で売建取引を同額行った。当社は繰延ヘッジを適用している。現物価格と先物価格は以下のとおりである。

	国債現物価格	債券先物価格
× 1 年12月 1 日（売建日）	105円	114円
× 1 年12月31日（決算日）	110円	120円

この時、× 1 年度決算日において繰延ヘッジ損益は「借方」または「貸方」どちらに計上されるか
教えてください。

A

TAC

「借方」に計上される。

※TX①〔例題10－1〕

Q

国債現物（その他有価証券として保有）の購入（1口）と同時に、債券先物市場で1口の売建取引を行った。当社は繰延ヘッジを適用している。現物価格と先物価格は以下のとおりである。

	国債現物価格	債券先物価格
×1年12月1日（売建日）	105円	114円
×1年12月31日（決算日）	110円	120円
×2年2月25日（決済日）	96円	107円

×2年度損益計算書における
投資有価証券売却損益の金額を教えてください。
なお、損失の場合には△を付すこと。

△2円

ヘッジ対象（現物）…△9円（△105円＋ 96円）

ヘッジ手段（先物）…＋7円（ 114円－107円）

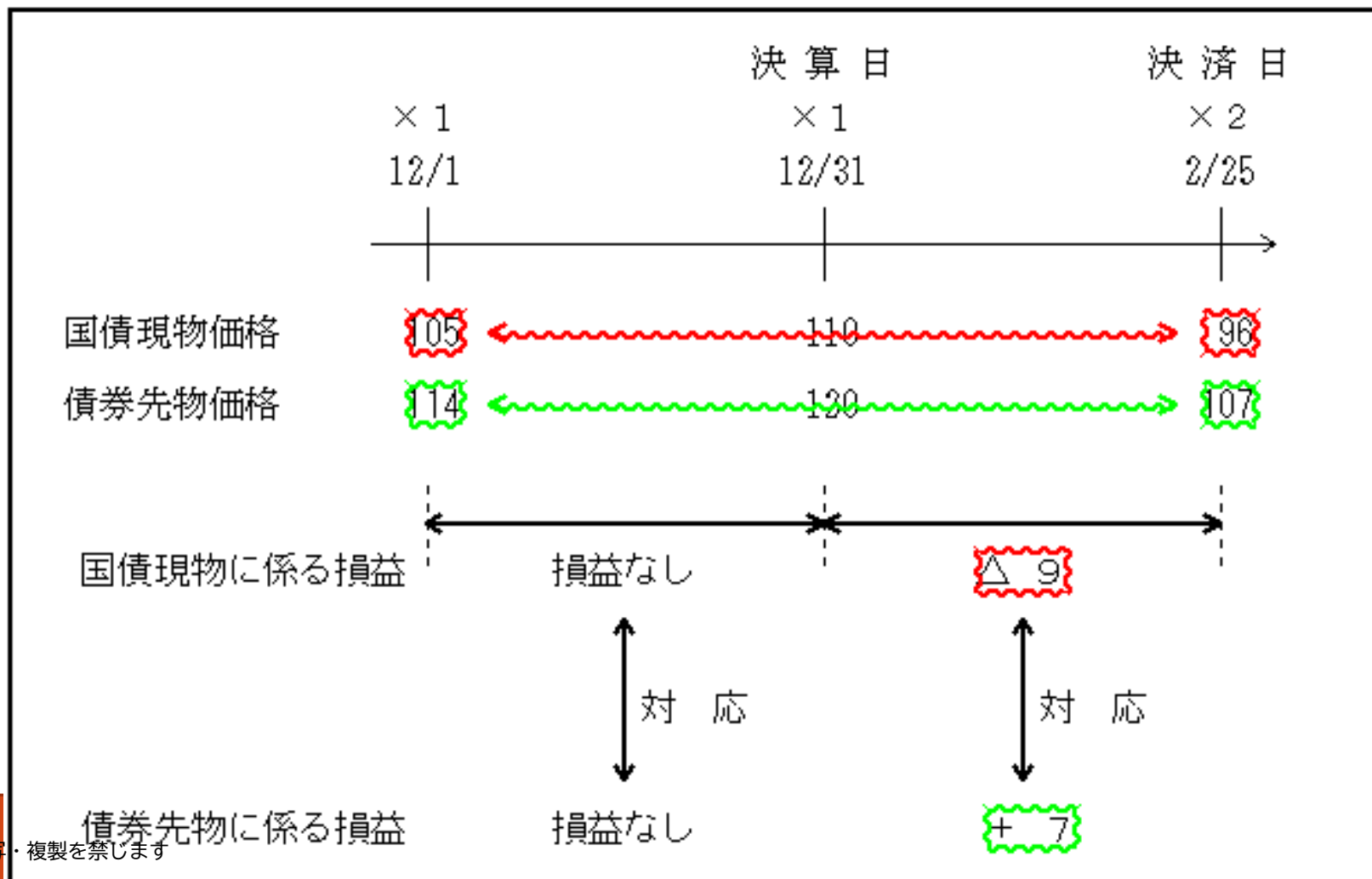
（ヘッジ対象の損益認識時に繰延ヘッジ損益を損益に計上するにあたり、繰延ヘッジにおいては原則としてヘッジ対象の損益区分と同一区分で表示する。） ※TX①〔例題10－1〕

A

【追加解説】

TAC

繰延ヘッジでは、現物（赤）も先物（緑）も
購入（売建）日と決済日の差額が損益となる。



Q

TAC

金利スワップについて、
繰延ヘッジを適用した場合の
会計処理を説明してください。

A

TAC

金利スワップの評価差額を
繰延ヘッジ損益とする。

なお、税効果会計の適用に注意すること！

※TX①〔例題10－2〕

Q

TAC

金利スワップについて、
スワップ取引から生じる
正味の債権及び債務(金利スワップ勘定)の
時価の算定方法を説明してください。

A 金利スワップの場合であれば、
将来スワップ取引により
受け取る金利の現在価値合計と
将来スワップ取引により
支払う金利の現在価値合計を比較して
時価評価を行う。

※TX①第9章Ⅲ. 5. (3)会計処理(注)

Q

TAC

為替予約について、
独立処理はどのように処理する方法か
説明してください。

外貨建金銭債権債務を決算日レートで換算し、換算差額を当期の損益として処理する。

また、デリバティブ（先物取引）の一種である為替予約（通貨先物取引）を時価評価し、評価差額を当期の損益として処理する。

※ヘッジ対象とヘッジ手段を別々に（独立して）処理する。

※T X①〔例題7－1〕

ドル建て約束手形の振出と同時に、
当該約束手形について為替予約を行った場合、
この取引はヘッジ取引であるか、
またヘッジ会計を適用する必要があるか
説明してください。

- ・ヘッジ取引である○
約束手形(ヘッジ対象)に為替予約(ヘッジ手段)を行い、
損失の可能性を減殺している。
- ・ヘッジ会計ではない×
ヘッジ対象とヘッジ手段の損益が期間的に
対応しているため。

Memo:ヘッジ「取引」とヘッジ「会計」の違いを確認！

※TX①〔例題7－1〕

Q

TAC

予定取引とはどのような取引か
説明してください。

予定取引とは、未履行の確定契約に係る取引及び契約は成立していないが、取引予定時期、取引予定物件、取引予定量、取引予定価格等の主要な取引条件が合理的に予測可能であり、かつ、それが実行される可能性が極めて高い取引をいう。

※まだヘッジ対象（取引）の発生前に、
為替予約（ヘッジ手段）など行うもの

※TX①〔例題10－3〕，〔例題10－4〕

Q

TAC

将来予定されている輸出取引（掛取引）
について為替予約を行った場合、
売上日及び売掛金の決済日に計上される
損益を説明してください。
なお、繰延ヘッジを適用している。

◎売上日

売上日の直物レートで「売上」を計上する。

先物レートの予約日と予定取引実行日

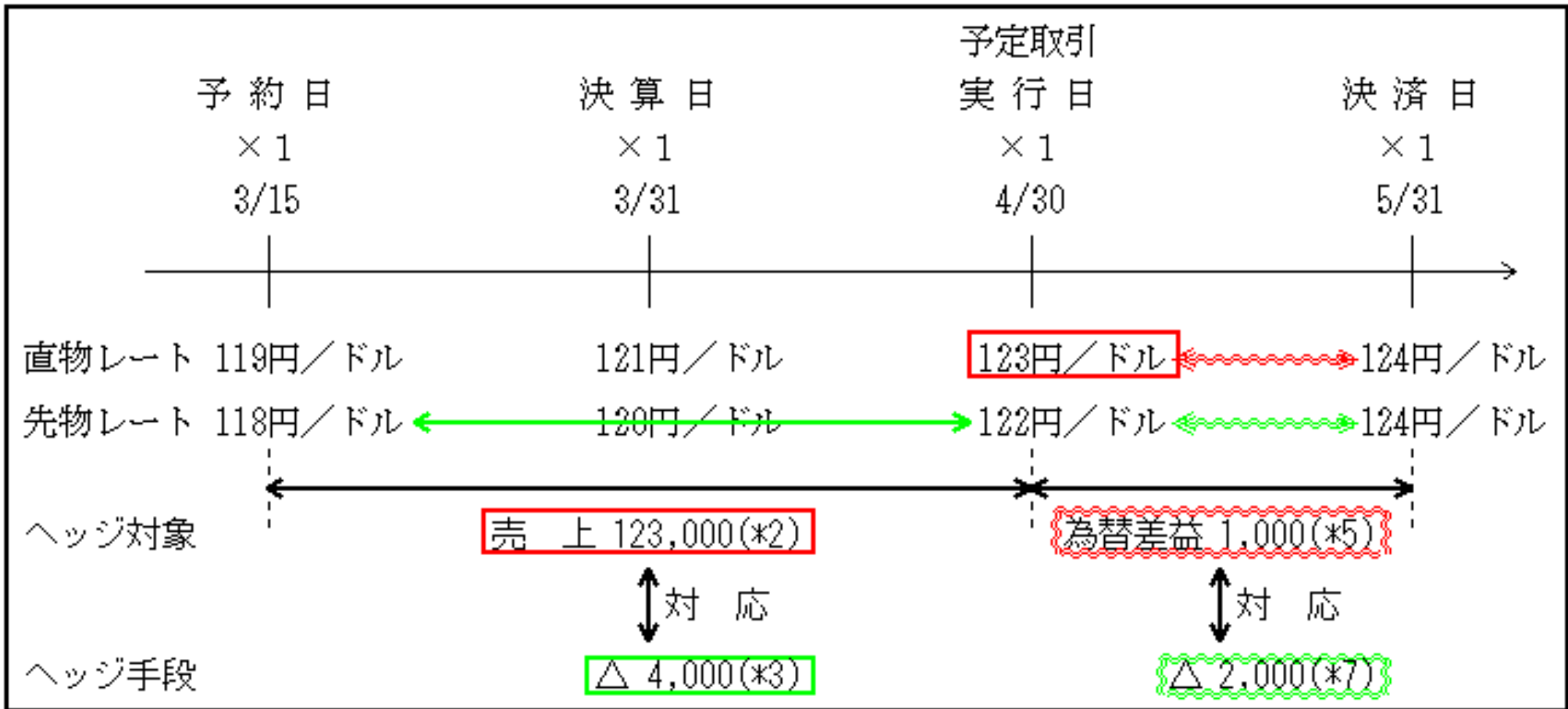
(売上日) の差額を「売上」とする。

◎決済日

直物レートも先物レートも予定取引実行日

(売上日) と決済日の差額を為替差損益とする。

【追加解説】 テキスト①例題10－4より



Q 以下の文章における【】内の適切な語句を選択してください。

TAC

将来予定されている輸出取引（掛取引）について
為替予約を行ったとき、
予約日における先物レートよりも
売上日における先物レートが上昇していた場合
為替予約を行わなかったときに比べて
売上高は【増加or減少】する。
なお、繰延ヘッジを適用する。

減少する。

輸出取引の場合、為替予約は売予約となる。
売予約の場合、レートが上がると損をする。

※ T X ① 〔例題10－3〕

Q

輸出取引（予定取引）について、
為替予約を行い、振当処理を適用した場合に、
ヘッジ対象とされる取引の実行前に
決算を迎える場合には、
決算整理の際に繰延ヘッジ損益が計上される。
この理由を説明してください。

A 外貨建取引前に為替予約を行った場合、振当の対象となる外貨建金銭債権債務は存在しないため、為替予約を振り当てることができない。しかし、為替予約をオフバランスにすれば為替予約が財務諸表に反映されないことになってしまうため、決算日に時価評価し、評価差額を繰り延べる。

Memo: 為替予約（デリバティブ）は必ず時価評価する！

※TX①〔例題10－4〕

Q

TAC

掛による輸出取引（予定取引）について、
為替予約を行い、振当処理を適用した場合、
売掛金の金額がどのような金額となるか
説明してください。

予約日の先物レートで換算する。

Memo: 振当処理は予約日の先物レートで
キャッシュ・フローを固定している。

※TX①〔例題10－3〕

Q

TAC

予定取引が資産の取得である場合で
為替予約を行うと、
当該取引の実行時（資産の取得時）に、
先物為替相場の変動を
どのように処理するか説明してください。

A

予約日から予定取引実行日までの
先物為替相場の変動は
資産の取得価額に加減する。

当該資産の費用計上される期

（償却性資産の場合は減価償却など）に
損益に反映することとなる。

※TX①〔例題10－3〕